

◆工事区分別技術検索システムの使い方◆

九州技術事務所

令和4年 1月31日時点

◆工事区分別技術検索システムの紹介◆

新技術活用率の更なる向上および「九州の技術^{注1)}」の活用促進を目的として、適用可能な新技術(NETIS)が容易に検索できるデータベースを作成しました。

データベースは、工事区分^{注2)}毎に分類しており、該当する工事区分のシートを開くことで、新技術(NETIS)の一覧がご覧いただけます。

また、施工者の方は、「施工者選定型」で「有用な新技術」や「事後評価未実施技術」を活用されると、成績評定の加点対象となるため、データベースを有効にご活用下さい。

注1)九州の技術:九州に登録され、九州に本社を置く業者により開発された新技術(NETIS)。

注2)工事区分:土木工事標準積算基準書の工種区分とNETIS情報の分類を参考に、「河川系」「道路系」「共通」に区分しています。

●工事区分別技術検索システムに掲載されている技術は以下の通りです。

○過去3カ年に九地整管内の工事で活用された新技術(NETIS)





○九州の技術

※九州の技術は活用の有無に関係なく掲載しています。

◆工事区分別技術検索システムの使い方◆

メインメニュー の基本操作

それぞれの項目をクリックすると、見合ったデータが表示されます。

- 工事区分内容確認：詳細な工事区分の内容が表示されます。
- 全技術 ：各工事区分に適用できる技術が表示されます。
- 九州の技術 ：各工事区分に適用できる九州の技術が表示されます。
- 有用な技術 ：各工事区分に適用できる有用な技術が表示されます。
- 九州の技術で有用な技術 ：各工事区分に適用できる九州の技術で有用な技術が表示されます。

九州の技術および九州地方整備局で活用された新技術 工事区分別技術検索システム (メインメニュー)

工事区分内容
確認

クリック

-     をクリックすると、それぞれの条件にあてはまる技術一覧にリンクします。

※全技術：九州の技術および平成30年度、令和元年度、令和2年度に活用された新技術

※九州の技術：九州に登録され、九州に本社を置く業者により開発された新技術

詳細な工事区分内容
表示

工事区分	全技術	九州の技術	有用な技術	九州の技術で 有用な技術
■ 河川工事				
■ 河川構造物工事				
■ 河川等工事				
■ 河川維持工事				

河川工事に適用可能
な技術を表示

クリック

◆工事区分別技術検索システムの使い方◆

工事区分について

それぞれの工事区分の詳細な内容については、「工事区分の内容」で確認して下さい。

目的の工種がどの工事区分に含まれるかを確認するため、メインメニューから【工事区分内容確認】をクリックすると、詳細な工事区分の内容が確認できます。

九州の技術および九州地方整備局で活用された新技術 工事区分別技術検索システム (メインメニュー)

工事区分の内容

[メインメニューに戻る](#)

工事区分は土木工事標準積算基準書の工種区分とNETIS情報の分類を参考に、「河川系」「道路系」「共通」に区分しています。

河川工事	河川工事において、次に掲げる工事 築堤工、掘削工、浚渫工、護岸工、特殊堤工、根固工、水制工、水路工、河床高水敷整正工、堤防地盤処理工、河川構造物グラウト工、護岸工、光ケーブル配管工等の補修及びこれらに類する工事 ただし、河川高潮対策区間の河川工事については「海岸工事」とする
河川構造物工事	河川における構造物及び道路における構造物において、次に掲げる工事 1.樋門(管)工、水(閘)門工、サイフォン工、床止(固)工、堰、揚排水機場、ロックシェッド(RC構造)、スノーシェッド(RC構造)、防音(吸音・遮音)壁工、コンクリート橋、簡易組立橋梁、仮橋・仮橋脚、PC橋(工場製作桁の場合)等の工事及びこれらの下部・基礎のみの工事 ただし、河川高潮対策区間における樋門(管)工、水(閘)門工については「海岸工事」とする 2.橋梁の下部工、床版工のみの工事及び橋梁(鋼橋は除く)の修繕、橋台・橋脚補強工事 3.ゴム伸縮継手(新設)、床版打替工、沓座拡幅工、落橋防止工(RC構造)、コンクリート橋の支承、高欄設置工(コンクリート、石材等)、旧橋撤去工(鋼橋コンクリート橋上下部)、トンネル内装工(新設トンネル) 4.1・2及び3に類する工事 ただし、門扉等の工場製作及び揚排水機場の上屋は除く
河川系 海岸工事	海岸工事において、次に掲げる工事 堤防工、突堤工、離岸堤工、消波根固工、海岸擁壁工、護岸工、樋門(管)工、河口浚渫、水(閘)門工、養浜工、堤防地盤処理工及びこれらに類する工事 河川高潮対策区間の河川工事において、次に掲げる工事 築堤工、掘削工、浚渫工、護岸工、特殊堤工、根固工、水制工、水路工、河床高水敷整正工、堤防地盤処理工、河川構造物グラウト工、樋門(管)工、水(閘)門工、光ケーブル配管工、護岸工等の補修及びこれらに類する工事
砂防・地すべり等工事	砂防、地すべり工事及び急傾斜地崩壊防止施設工事において、次に掲げる工事 堰堤工、流路工、山腹工、抑制工、抑止工、床固工、落石なだれ防止工、集水井工、集排水井ボーリング工、排水トンネル工及びこれらに類する工事
河川維持工事	河川維持工事(河川高潮対策区間の工事を含む)において、次に掲げる工事 1.堤防天端・法面等の補修工事 2.標識、境界杭、防護柵及び駒止め等の設置 3.道路における電気通信設備以外の当該設備工事 4.河川の伐開、除草、清掃、芝養生、水面清掃等の作業 5.1、2、3及び4に類する工事
コンクリートダム工事	コンクリートダム本体を主体とする工事

クリック **工事区分内容確認**





件にあてはまる技術一覧にリンクします。

令和2年度に活用された新技術
これより開発された新技術

九州の技術	有用な技術	九州の技術で有用な技術
✔	★	☆
✔	★	☆
✔	★	☆
✔	★	☆
✔	★	☆
✔	★	☆
✔	★	☆

◆工事区分別技術検索システムの使い方◆





技術一覧について

それぞれの工事区分の項目(全技術 、九州の技術 、有用な技術 、九州の技術で有用な技術 )をクリックすると、条件に見合った技術一覧が表示されます。

九州の技術および九州地方整備局で活用された新技術 工事区分別技術検索システム (メインメニュー)

工事区分内容
確認

河川工事に
適用可能な技術が
表示されます。

    をクリックすると、それぞれ

※全技術:九州の技術および平成30年度、令和元年度、令和2年度に九州地方整備局で活用された技術および九州の技術

※九州の技術:九州に登録され、九州に本社を置く事業者により開発された新技術

■掲載技術:平成30年度、令和元年度、令和2年度に九州地方整備局で活用された技術および九州の技術
※九州の技術:九州に登録され九州に本社を置く事業者により開発された新技術
※仮設材(トイレ、コーン、看板等表示機材、投光機等照明、敷板等)は「仮設」を参照ください
※遠隔監視や計測管理システム、安全管理・健康管理・位置情報等の管理技術等は「その他」を参照ください

※技術の詳細はインターネット検索から「NETIS」ホームページで検索キーワードに登録番号や技術名を入力して検索してください。

NETISホームページを開く

令和4年1月末日現在

河川工事で活用できる新技術(210技術)一覧表

活用効果調査結果について
(★A~D:事後評価未実施技術のうち九州で活用された活用効果調査表の評価点の平均)
(★-:活用効果調査表が未提出のため評価されていない技術)

メインメニューに戻る

登録番号	種別記号	活用年度	活用方式	技術名	副題	区分	分類Lv.1	分類Lv.2	九州の技術	有用な技術	活用効果調査結果
CB-170020	A	R1	施工者選定型	UAVレーザ測量システム「TOKI(トキ)」	地上測量が困難な樹木に覆われた急傾斜地などで詳細設計に対応可能な地形図を取得するシステム	システム	調査試験	測量	-	-	★B
CG-180005	A	R1	施工者選定型	増圧(ブースタ)機構を搭載した油圧解体機	本技術は、解体機に増圧(ブースタ)機構を搭載することで、破砕作業の効率化によって工期短縮・燃料削減・CO2排出量削減を図るものである。	機械	共通工	構造物とりこわし工	-	-	★B
KK-160001	A	H30 R1	発注者指定型	かごあくく	円筒状の金網とチェーンを用いた施工性および耐久性に優れたかご工	工法	共通工	かご工	-	-	★C
KK-160009	A	H30	発注者指定型	クリアフロー工法	大口径短形まき更生工法	工法	共通工	排水構造物工	-	-	★B
KK-190038	A	R2	施工者選定型	中層地盤改良ガイダンスシステム	GNSS又はトータルステーション(TS)とブーム等の傾斜計からリアルタイムで取得した改良刃先3次元位置の履歴データを用いた出来形管理支援システム	システム	共通工	軟弱地盤処理工	-	-	★B
KK-200023	A	R2	施工者選定型	次世代型測量機スキャニングトータルステーションシステム	従来のトータルステーションの機能をそのままに、3Dレーザスキャナ、高解像イメージャーをサブユニットに融合しているため、日々の作業効率がアップし高い稼働率となる。	システム	土工	施工管理	-	-	★B
KKK-190001	A	R1 R2	施工者選定型	KWシート	高保水型・コンクリートブロック形状対応の養生シート	製品	港湾・港湾海岸・空港	消波工	-	-	★B
KT-160051	A	R2	施工者選定型	現場地耐力試験システム	平板載荷試験を簡易にした地盤調査	システム	調査試験	地質調査	-	-	★-



◆工事区分別技術検索システムの使い方◆

技術一覧の見方

(■河川工事の全技術を選択した例)

河川工事に適用可能な新技術が表示されます。

河川工事で活用できる新技術(210技術)一覧表

メインメニューに戻ります。

■掲載技術:平成30年度、令和元年度、令和2年度に九地整で活用された技術および九州の技術

※九州の技術:九州に登録され九州に本社を置く業者により開発された新技術

※仮設材(トイレ、コーン、看板等表示機材、投光機等照明、敷板等)は「仮設」を参照ください

※遠隔監視や計測管理システム、安全管理・健康管理・位置情報等の管理技術等は「その他」を参照ください

活用効果調査結果について

(★A~D:事後評価未実施技術のうち

九地整で活用された活用効果調査表の評価点の平均)

(★-:活用効果調査表が未提出のため評価されていない技術)

※技術の詳細はインターネット検索から「NETIS」ホームページで検索キーワードに登録番号や技術名を入力して検索してください。

メインメニューに戻る

NETISホームページを開く

登録番号	種別記号	活用年度	活用方式	技術名	副題	区分	分類Lv.1	分類Lv.2	九州の技術	有用な技術	活用効果調査結果
CB-170020	A	R1	施工者選定型	UAVレーザ測量システム「TOKI」(トキ)	地上測量が可能な				-		★B
			選定型	増圧(ブースタ)機構を搭載した油圧解体機	本技術は、業の効率化ものである				-		★B
			選定型	かご丸くん	円筒状の金網とチェーンを用いた施工性および耐久性に優れたかご工	工法	共通工	かご工	-		★C
			選定型	クリアフロー工法	大口径矩形きょ更生工法	工法	共通工	排水構造物工	-		★B
KK-190038	A	R2	施工者選定型	中層地盤改良ガイダンスシステム	GNSS又はトータルステーション(TS)とブーム等の傾斜計からリアルタイムで取得した改良刃先3次元位置の履歴データを用いた出来形管理支援システム	システム	共通工	軟弱地盤処理工	-		★B
KK-200023	A	R2	施工者選定型	次世代型測量機スキャニングトータルステーションシステム	従来のトータルステーションの機能をそのままに、3Dレーザスキャナ、高解像イメージャーをパーフェクトに融合しているため、の作業効率がアップし高い稼働率となる。						★B
KKK-190001	A	R1 R2	施工者選定型	KWシート	高保水型・コンクリートブロック形状対応の養生シート						★B
KT-160051	A	R2	施工者選定型	現場地耐力試験システム	平板載荷試験を簡易にした地盤調査						★-

「A」を選択することで、「事後評価未実施技術」を抽出することができます。

技術の詳細情報を「NETIS」で確認できます。
※パソコンの環境によっては「NETIS」トップページが表示される場合があります。検索キーワードに登録番号等を入力して検索してください。

活用効果評価結果(事後評価未実施技術は九州地方整備局で活用された評価が確認できます。

◆工事区分別技術検索システムの使い方◆

技術一覧の見方

(■河川工事の有用な技術を選択した例)

河川工事に適用可能な新技術（有用な技術）が表示されます。

令和4年1月末日現在

河川工事で活用できる新技術【有用な技術】(45技術)一覧表

■掲載技術:平成30年度、令和元年度、令和2年度に九地整で活用された技術および九州の技術

※九州の技術:九州に登録され九州に本社を置く業者により開発された新技術

※仮設材(トイレ、コーン、看板等表示機材、投光機等照明、敷板等)は「仮設」を参照ください

※遠隔監視や計測管理システム、安全管理・健康管理・位置情報等の管理技術等は「その他」を参照ください

活用効果調査結果について

(★A~D:事後評価未実施技術のうち

九地整で活用された活用効果調査表の評価点の平均)

(★-:活用効果調査表が未提出のため評価されていない技術)

※技術の詳細はインターネット検索から「NETIS」ホームページで検索キーワードに登録番号や技術名を入力して検索してください。

NETISホームページを開く

メインメニューに戻る

登録番号	種別記号	活用年度	活用方式	技術名	副題	区分	分類 Lv.1	分類 Lv.2	九州の技術	有用な技術	活用効果調査結果
QS-170028	A	H30 R2	施工者選定型	小口止太郎	プレキャスト小口止めブロック	製品	河川海岸	多自然型護岸工	●	[R2評価促進]	★B
CB-110033	VE	H30 R1 R2	施工者選定型	モーター駆動式トータルステーション制御搭載 多機能電子野帳(Mr.Samurai CALS/i)	測量・施工管理等を効率化・省力化する軽量な多機能電子野帳システム	システム	調査試験	測量	-	[活用促進]	B
CG-120020	VE	H30	施工者選定型	地盤改良機誘導システム	GNSS受信機を使用して地盤改良機を所オペレータが把握できるシステム	製品	港湾・港湾海岸・空港	消波工	-	[活用促進]	B
HK-110024	VE	H30 R1 R2	施工者選定型	地盤改良管理システム	攪拌混合作業においてマシンガイダンスを管理し、施工軌跡を記録することで、の効率化を図るシステム	製品	共通工	情報化施工	-	[H29準推奨] [活用促進]	B
HKK-110007	VE	H30 R2	施工者選定型	コマシートシルバー	異形コンクリートブロック防寒養生(保温)シートレンタル	製品	共通工	消波工	-	[活用促進]	B
HR-140026	VE	H30 R1 R2	施工者選定型	バックホウ3Dマシンガイダンスシステム	GNSS、またはトータルステーションを使用したバックホウ3Dマシンガイダンスシステム	システム	共通工	情報化施工	-	[活用促進]	B
KK-110061	VE	H30	施工者選定型	自動走査式RI密度水分計(SRID)	浮上、回転による自動走査式盛土のRI密度、水分測定器	システム	土工	施工管理	-	[活用促進]	B

技術の位置付けが分かります。

- ・推奨技術
- ・活用促進技術・・・等

「有用な新技術」とは、事後評価実施済み技術のうち、特に優れた技術と認められた技術で、その評価内容から「推奨技術」「準推奨技術」「評価促進技術」「活用促進技術」に分類されます。

◆工事区分別技術検索システムの使い方◆

工事区分の分類例

同一の新技术(NETIS)が、複数の工事区分に分類されています。

例えば、河川・道路何れのコンクリート構造物の補修工事に適用可能であるにも関わらず、NETIS情報において道路維持修繕工に分類されているために、河川分野での活用が少ない新技术等についても、複数の適用可能な工事区分に分類されているため、幅広い検索が可能です。

仮設材(トイレ、コーン、看板等表示機材、投光機等照明、敷板等)は「仮設」のシートにとりまとめています。また、遠隔監視や計測管理等のシステム、安全管理・健康管理・位置情報等の管理技術等は「その他」にとりまとめています。

●分類例

NETIS情報の分類

分類1: 道路維持修繕工 - 橋梁補修補強工

CG-140001 ShieM-CS工法 Bタイプ
バリアシートによるコンクリート中性化・塩害・
はく落防止工法

河川構造物工事

道路構造物工事

道路維持工事

3つの工事区分に分類

NETIS情報の分類

分類1: 共通工-深層混合処理工

QS-190020 高トルク型中圧噴射機械攪拌工法
(MITS工法CMS-Sシステム)
小型機を用いた中圧噴射攪拌による変位低減型地盤
改良工法

河川工事

道路構造物工事

河川構造物工事

道路改良工事

海岸工事

5つの工事区分に分類